芸術の館

HART 85

HYOGO PREFECTURAL MUSEUM OF ART　兵庫県立美術館

# 生誕130年記念 藤田嗣治展
## 東と西を結ぶ絵画

お河童頭に丸眼鏡で有名な藤田嗣治（1886 - 1968）の生涯と画業をたどる展覧会です。27歳で初めてフランスに渡って以来、81年の生涯の半分近くを、フランスを中心とする異国で送った藤田の芸術は、まさに東と西の文化の上に誕生したものです。しかし、藤田自身は、二つの文化に引き裂かれる苦しみを味わいます。エコール・ド・パリの寵児として大成功を収めた後も繰り返される毀誉褒貶。戦中に描いた戦争画を巡る責任論。その結果としての、1949年の離日、フランス帰化、そしてカトリック受洗という生涯は、芸術と人生の間にある、ぬきさしならぬ関係を、私たちに示唆します。本展は、画家の没後長らく遺族のもとに保管され、フランス、ランス市に寄贈された800余点の中から選ばれた作品と、国内外の主要美術館および個人所蔵家からご拝借した作品約120点を展示し、藤田の芸術の新たな解釈と理解を目指します。

# LEONARD FOUJITA
## ART BRIDGING THE EAST AND THE WEST

# Foujita

2016年　夏、フジタ、　神戸上陸。

2016 7/16（土）— 9/22（木・祝）

### 関連イベント

■連続講演会　「フジタへの視点」

第1回　藤田嗣治の1930年代　—東西の狭間での葛藤—
8月7日（日）14:00 〜（約90分）
講師：深谷克典氏（名古屋市美術館副館長）

第2回　藤田嗣治「乳白色」の真実
8月21日（日）14:00 〜（約90分）
講師：内呂博之氏（金沢21世紀美術館コンサベーター／キュレーター）

第3回　藤田嗣治の戦争と美術
8月28日（日）14:00 〜（約90分）
講師：河田明久氏（千葉工業大学教授）

いずれもミュージアムホールにて（定員250名）
聴講無料（要観覧券）

■学芸員による解説会
8月6日（土）、8月20日（土）、9月17日（土）　16:00 〜（約45分）
レクチャールームにて（定員100名）　聴講無料

■ミュージアム・ボランティアによる解説会
会期中の毎週日曜日　11:00 〜（約15分）
レクチャールームにて（定員100名）聴講無料

■おやこ解説会　「教えて、フジタさん。」
8月6日（土）、8月20日（土）　13：30 〜（約30分）
レクチャールームにて（募集人数20家族、要申込、先着順）
※詳しい情報は巻末の「こどもプログラム」欄をご覧ください。

### 音声ガイド
語り手はオダギリジョーさん！（解説:約30分、貸出料金:520円、ナレーター：玉川砂記子）。

### 「フジタなりきりコーナー」設置します
展覧会を見終わった後は、お河童頭に丸眼鏡、そしてチョビ髭をつけて、そのままフジタになりきって記念撮影！巨匠の気分（？）を味わおう。

### 観覧料
一般 1,400（1,200）円、大学生1,000（800）円、
高校生・65歳以上700（600）円、中学生以下無料

＊（　）内は20名以上の団体割引料金。
＊ 主なチケット販売所：チケットぴあ、ローソンチケット、セブンイレブン、イープラス、CNプレイガイドほか京阪神のプレイガイド。
＊ 障がいのある方は各当日料金の半額（65歳以上を除く）。その介護の方1名は無料。
＊ 各種割引の適用は、会期中、美術館窓口のみ。要証明。